

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年2月20日（木）
- 2 確認箇所
A排水路
- 3 確認項目
A排水路におけるP S Fモニタの本格運用前の状況

4 確認結果の概要

発電所構内に敷設されているA排水路では、汚染水の漏えいを検知するためのプラスチック・シンチレーション・ファイバー（以下、「P S F」という。）モニタを本格運用することを計画しており、これまでP S Fモニタの試運用を実施してきた。

P S Fモニタは地上に設置し、A排水路からポンプアップしてP S Fモニタに排水を汲み上げ漏えい確認を行っているが、試運用の結果、ポンプ上流側に設置したスクリーン（流木等からポンプを保護するためのもの）の吸込口に砂泥が詰まり排水を汲み上げることが困難となったため、砂泥対策工事が実施されたことから東京電力に当該工事の進捗状況の聞き取りを行った。

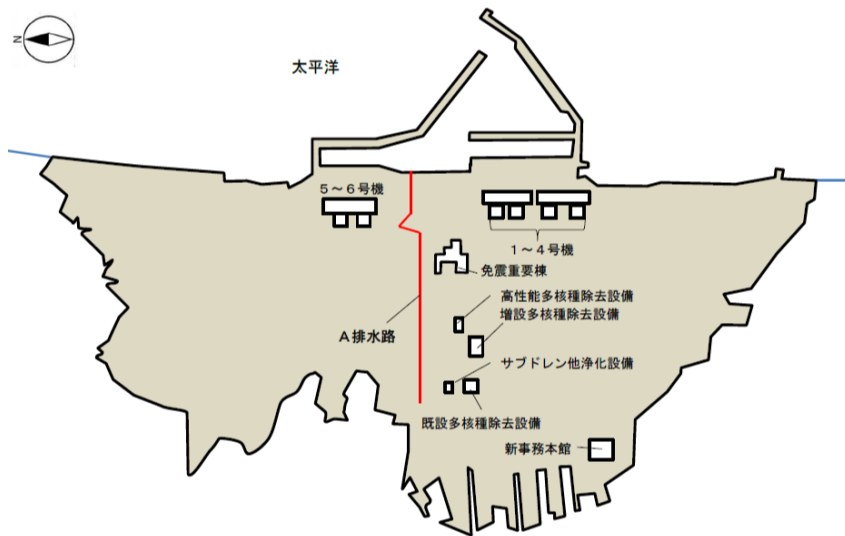
また、併せてA排水路の現況の確認を行った。（前回確認：[平成30年10月2日](#)）

<聞き取り結果>

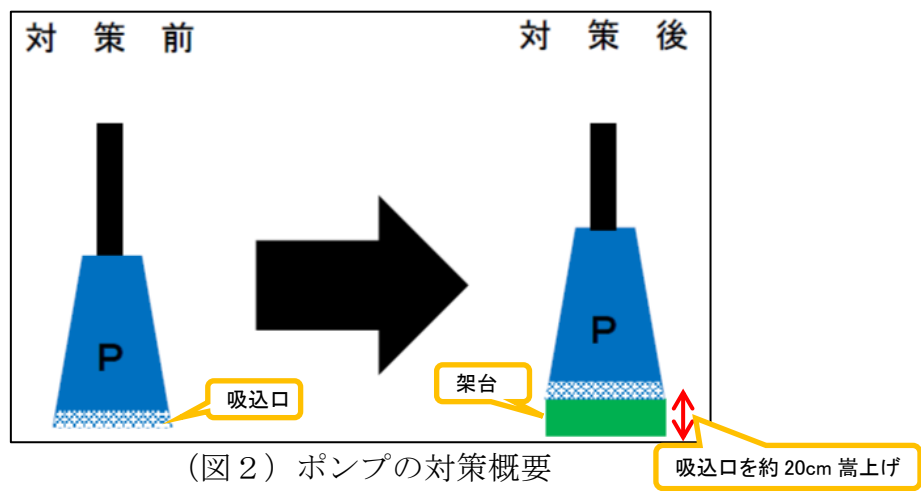
- ・砂泥対策として、ポンプを架台の上に設置し、ポンプの吸込口を約20cm床面から嵩上げした。（図2）
- ・また、スクリーンの吸込口を床面よりも高い場所に設置し、さらに吸込口の面積を小さくした。（図3）
- ・対策工事は2月14日に竣工し、本格運用は3月下旬の予定である。

<現場確認結果>

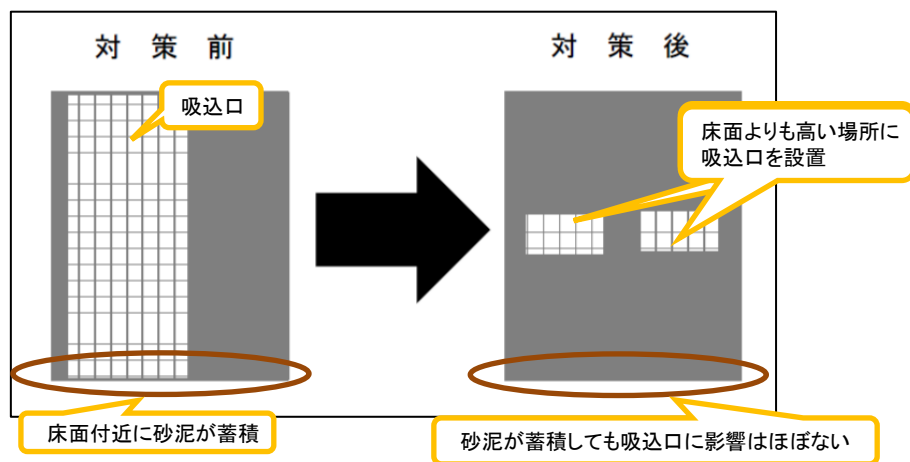
- ・側溝の一部には、土砂流入防止のためのゼオライト土嚢が前回確認時と同様に設置されていた。（写真1）
- ・開渠の側溝及び溜枡には土砂等の堆積はなかった。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) ポンプの対策概要



(図3) スクリーンの対策概要 (対策後の格子状スクリーンの下流側にポンプが各1基設置される)



(写真1)
ゼオライト土嚢設置状況



(写真2-1)
免震重要棟近傍の側溝の状況
(東側から撮影)



(写真2-2)
溜枡の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。